

クローズアップ



共同の宣言文を掲げる城崎宮津市長（左）と山添町長（右）

与謝野町・宮津市の共同宣言 気候非常事態を宣言

近年、日本を含む世界各地において、地球温暖化を一因とする気候変動により多くの自然災害が発生しています。こうした気候変動への対策は、国、地域を越えて取り組むべき喫緊の課題です。

10月20日、知遊館において与謝野町と宮津市は共同で「気候非常事態宣言」を表明しました。この表明は、地球温暖化を一因とする気候変動から、密接につながっている与謝野町・宮津市の豊かな自然（森・里・川・海）の恵みを次世代に引き継ぐため、課題と目標を市民・町民・事業者が共有し、一丸となって行動することを目的に行ったものです。内容は、「脱炭素社会の構築」「循環型社会への転換」「豊かな自然環境の保全」を指すことを明記しています。

気候非常事態宣言は、2020年10月に菅首相（当時）の所信表明演説において、温室効果ガスの排出量を2050年までにゼロにすると言われ、国会においても超党派の議員によって気候非常事態宣言の国会決議がされました。令和3年7月現在で、世界で34カ国2000を超えている自治体等が、日本では約100の自治体が宣言を表明しています。

ゼロ・カーボンシティを表明

与謝野町と宮津市はそれぞれ令和2年3月と6月に、2050年に二酸化炭素排出実質ゼロの実現を目指す表明をしています。

宮津市・与謝野町 気候非常事態宣言（抜粋）

宮津市・与謝野町は「白砂青松の景色が広がる天橋立」をはじめ、阿蘇海、大江山など、美しく豊かな自然環境を次世代に引き継いでいく責務のもと、気候が非常事態にあるという危機感を市民・町民・事業者などあらゆる主体と共有し、一丸となって行動するため、ここに「気候非常事態」を宣言し、脱炭素社会の構築など持続可能なまちづくりの実現を目指します。

脱炭素社会の構築に向け、AIやIoTなどのスマート技術を利用するなど、消費エネルギーの最適化を進めるとともに、再生可能エネルギーへの転換（普及・利用促進）など、市民・町民・事業者などの連携した取組をさらに進め、2050年の温室効果ガス（二酸化炭素）排出量実質ゼロを目指します。

資源循環型社会への転換に向け、市民・町民の一人ひとりがライフスタイルを見直し、社会生活や産業活動における省エネルギーの推進に取り組むほか、Reduce（リデュース・ごみの排出抑制）、Reuse（リユース・再利用）、Recycle（リサイクル・再資源化）の推進と併せ、消費活動におけるRefuse（リフューズ・ごみの発生回避）にも積極的に取り組みます。特に海洋汚染の原因となるプラスチックごみについて、この4Rの推進に取り組みます。

豊かな自然環境の保全に向け、森林の適正な管理やブルーカーボン生態系の活用など、森・里・川・海（阿蘇海を含む）の良好な自然環境の保全に取り組みます。



「人生会議」という言葉をご存知でしょうか？
誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。命の危険が迫った状態になると、約70%の方が、医療やケアなどを自身で決めたり望みを伝えたりすることができなくなると言われています。自身が希望する医療やケアを受けるために、大切にしていることや望んでいること、どのような医療やケアを望むかを自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することを「人生会議」といいます。人生会議は必ずしなければいけないことではありません。生き方の選択肢の一つであり、いつでもやめること、変更することができず。自身で判断できなくなつたその後の人生を、少しでも豊かなものとするために、「人生会議」というものを知ってください。

ACP

人生会議の進め方 — 無理に決めなくてもいいから、いっぱい話をしよう —

治療する際に、大切にしたいことを **考えて** みましょう

Step 1

家族や友人のそばにいたい
好きなことをし続けたい
家族に負担をかけたくない など

もしものときに、あなたの思いを伝えてくれる人を **選び** ましょう

Step 2

どんなときでもあなたの希望を尊重できる人

配偶者 きょうだい こども

かかりつけ医に **質問** してみましょう

Step 3

今後予想される経過は？
必要な医療やケアは？

希望する医療やケアについて **話し合** いましょう

Step 4

痛みやつらさがなければできるだけケアを受けたい
ひとりにしないでほしい
入院するのはいやだ など

希望や思いは時間の経過や健康状態によっても変化していくものです。何度も繰り返し考えていきましょう。

いい看取り（看取られ）

11月30日は「人生会議の日」～もしものときに備えて話し合いを～

厚生労働省では、毎年11月30日を「人生会議の日」と定めています。人生の最後を満足して迎えるためには、日ごろから自身ももしものときにどのようなケアを受けたいかを考え、家族やかかりつけ医などと話し合うことが大切

です。最近では、新型コロナウイルス感染症にり患した方への面会がかなわず、残念ながら命を落とされた方への看取りができなかったという報道により、改めて人生の最後に備えることへの重要性が注目されています。



今からはじめる「人生会議」

ACP（アドバンス ケア プランニング）